

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 金曜日・2校時	必修選択 選択	単位数 2単位
授業科目/(英語名)	生体の構造(人類学入門) /Structural and Molecular Biology (Intoroduction to Physical Anthropology)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人間科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:六反田 篤 / Eメールアドレス:roku@nagasaki-u. ac. jp / 研究室:顎顔面解剖学分野 / TEL:095-819-7627 / オフィスアワー:月一金 16:15~17:45			
担当教員(オムニバス科目等)	加藤克知/k-katou@nagasaki-u. ac. jp 真鍋義孝/manabe@nagasaki-u. ac. jp		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:人類の進化、形質の変化、地理的変異の概念について理解させる。 授業方法:オムニバス方式で講義を行なう。教室作成の冊子を配付する。適宜、プリント、スライド等を使用する。 授業到達目標: (1) 人類進化の概略について説明できる。(2) 直立二足歩行の起源とその意義を説明できる。(3) 日本人の起源について説明できる。(4) ミトコンドリア DNA とミトコンドリア・イブについて説明できる。(5) 脊椎動物の進化について概略説明ができる。(6) 身体変工の種類について概略説明ができる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 人類はアフリカに誕生し、世界各地に適応放散し現在に至った。脊椎動物の進化、ヒトの進化過程、その様相・要因や、風俗、 <u>慣習</u> としての身体変工について講義する 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回目 人類学とは、人類学分野のトピックス 第2回目 人類進化概説・猿人から新人(解剖学的現代人)まで 第3回目 人種の形成、アジア人の誕生 第4回目 日本人の起源に関する諸説 第5回目 あなたは渡来系形質を持つか 第6回目 生と死の人類学(ヒトは死んだらどうなるか) 第7回目 骨とミイラの研究法 第8回目 エジプト、アンデス、日本のミイラ 第9回目 風俗や習慣としての「身体変工」の種類、方法、意味 第10回目 古代アンデスの人類学 第11回目 脊椎動物における歯の進化(1) 硬組織の起源から哺乳類まで 第12回目 脊椎動物における歯の進化(2) 哺乳類の歯の形態変異 第13回目 脊椎動物における歯の進化(3) 初期霊長類からヒト科まで 第14回目 世界全体から見た現代人の歯の形態の地域的変異 第15回目 歯の形態からみた日本人の起源			
キーワード	人類の進化、人種、ミトコンドリア DNA、日本人の起源		
教科書・教材・参考書	人類700万年進化の旅(教室作成編) 歯と顎の進化(教室作成編) 上記以外に適宜プリントを作成の上配布		
成績評価の方法・基準等	各担当教官毎にレポートを課し、その内容にて評価を行う。 成績が100点満点中60点以上の者を合格とする。		
受講要件(履修条件)	講義は毎回出席し、ノートを取ること。 質問は随時受け付けるが、オフィスアワーでも受け付ける。 メールで面談の時間調整を行なって下さい。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	人類の多様性とその起源と進化、変遷について理解を深め、問題解決能力を育成することを目的とする。		
備考(準備学習等)	教科書、参考書などで十分に予習を行なっておくこと。		